

一表紙の写真について

表紙は、1月7日に行われた「はたちのつどい」から。当日は、20歳を迎えた約80名が出席し、久しぶりに集まった仲間たちとの交流や、恩師との再会などを楽しみました。当日の様子は次ページでも紹介しています。



俱中生が人権作文コンテスト入賞

12月14日、人権尊重の重要性について理解を深めることなどを目的に実施される「第42回全国中学生人権作文コンテスト」で、俱知安中学校3年の川村瑚弓さんが入賞し、表彰されました。



子どもたちへクリスマスプレゼント

12月25日、俱知安商工会議所青年部からくっちゃん保育所ぬくぬくへ絵本約20冊が寄贈され、サンタの格好をしたメンバーが、子どもたちにプレゼントの絵本を手渡しました。



町の課題に一丸となって取り組む

1月5日、新年交礼会を町内ホテルで開催。当日は、町功労者などの表彰が行われたほか、町内の企業・団体の関係者が年頭のあいさつを交わすなど、新たな年の始まりを祝いました。

まちの話題

— PHOTO SPOT —



子どもたちが考える未来の新幹線駅は？

12月から1月にかけて町内各学校では、新幹線俱知安駅デザインに関するアンケートが行われ、生徒たちはそれぞれの案の印象などを話し合った後、好きなデザインを選び投票しました。
(写真は12月19日の俱知安中学校)



祝！アジアパラで銅メダル

12月28日、カヌー選手である辰己博実^{ひろみ}さんが町長の元を訪れ、昨年10月に中国・杭州市で開催された「アジアパラ競技大会」で銅メダルを獲得したことを報告しました。



野球をもっと好きになって

1月17日、メジャーリーガーの大谷翔平選手から全国約2万校の小学校に寄贈されたグローブが、町内各小学校に届けられ、児童らにお披露目されました。
(写真は俱知安小学校)



20歳おめでとう 思い出のつまった故郷

「はたちのつどい」が1月7日(日)、文化福祉センター大ホールで開催されました。

式典では、中鉢空さんがはたちの誓いを、竹山芽里さんがお礼の言葉を述べたほか、サプライズで学生時代の懐かしい写真や恩師からのメッセージを集めた記念映像が上映されるなど、会場は笑顔と感動に包まれました。



家族への 恩返しを

「今は仕事で精いっぱいですが、少しずつ家族や友だちとの時間を増やし、いつまでも『遊び心』を忘れない余裕のある大人になり

たいです」
「道職員は、さまざまな土地で多くの人と関わることができると、いろいろな経験を通して、北海道の魅力をもっと知っていきたく思います」
「就職を機に一人暮らしを始めたことで、家族のありがたさを感じるようになりまし。これからは、少しでも育ててくれた恩返しをしていきたいなと思っています」

「俱知安の魅力は？
「じゃが祭りなどに参加して、地域と関わる機会も増えたので、子どもの頃よりも町の魅力を感じるようになりました。羊蹄山の山頂から見景色が好きなので、昨年は2回登りました」
20歳を迎えて？
「今は仕事で精いっぱいですが、少しずつ家族や友だちとの時間を増やし、いつまでも『遊び心』を忘れない余裕のある大人になり

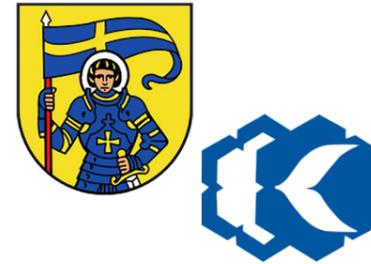


鈴木智也さん

俱知安で生まれ育ち、現在は、北海道職員として後志総合振興局で働く。

～祝！サンモリッツ・倶知安 姉妹都市提携 60 周年～

友好を築き続けた 60 年



今年、2024 年はスイス・サンモリッツ市と倶知安町が姉妹都市の提携を結んでから 60 周年を迎える記念すべき年です。

今月号の特集では、サンモリッツとの歩みやサンモリッツの魅力を改めてお伝えするほか、4 年ぶりに実施した青少年交流事業や 60 周年を記念して実施する予定のイベントなどを紹介します。

“東洋のサンモリッツ” 倶知安町



『東洋のサンモリッツ』と呼ばれる倶知安町ですが、初めて『東洋のサンモリッツ』という表現をしたのは、本町にスキー技術を伝えたオーストリア武官のレルヒ中佐であったと言われています。今から 100 年以上も昔、1912（明治 45）年、北海道の山を滑ったレルヒ中佐は、「北海道の冬の景観は、第二のスイスである。10 年後には『東洋のサンモリッツ』として大発展を見るであろう」と発言しました。

その後、1928（昭和 3）年には、スポーツ振興に力を注いだ秩父宮様（昭和天皇の弟）が、スキー旅行でニセコエリアに訪れました。当時の新聞記事は、『極東のサンモリッツ』に最後の御思出 霊泉に恵まれた好スロープ御滞在は三日間」と題し、スキー場の様子を紹介したことから、後に倶知安町は、『東洋のサンモリッツ』と親しまれ、国内でも人気のスキー観光地となりました。

“ハンカチ” からつながる世界

海外旅行もマイナーだった 1964（昭和 39）年、インスブルック冬季五輪視察のため、サンモリッツ市を訪れることとなった当時の高橋清吉町長らは、宿泊先のホテルにてサンモリッツ市長のフリッシュ・サルトモ氏と対談しました。高橋町長は、サルトモ市長への素晴らしさを伝え、用意したニセコの絵ハガキやバッジ、人形を贈り、大変喜ばれました。

1 時間 30 分にわたった対談の後、高橋町長から姉妹都市提携の話を持ち出したところ、サルトモ市長は 2 つ返事で快諾し、この話が本当であることの証明として、倶知安町側が持っていたハンカチにサルトモ市長のサインと公印が押されました。

高橋町長は持ち帰ったハンカチをもとに町議会へ説明を行い、同年 3 月 19 日にサンモリッツ市との姉妹都市提携が決議され、国内初となるスイスの都市との姉妹都市提携となりました。



1964 年（昭和 39 年）

インスブルック冬季五輪視察のため渡欧中の高橋清吉町長がサンモリッツ市を訪問
フリッシュ・サルトモ市長へ姉妹都市提携を提案し、姉妹都市提携に至る

1968 年（昭和 43 年）

グルノーブル冬季五輪視察のため渡欧中の吉田富美雄町長がサンモリッツ市を訪問
提携後初の人的交流となる

1982 年（昭和 57 年）

初の民間訪問団 23 名がサンモリッツ市を訪問



① 初めての公式訪問団に倶知安町民はスイス国旗の小旗を振り歓迎しました

1986 年（昭和 61 年）

サンモリッツ市から初の公式訪問団 9 名が来町 ①

1988 年（昭和 63 年）

姉妹都市提携 25 周年を記念し、サンモリッツ市から「アルプホルン」3 本の寄贈
初の公式訪問団 宮下雄一郎町長ら 26 名がサンモリッツ市を訪問 ②



② 1986 年の来町の返礼として、宮下町長は町民と共に訪問しました

1991 年（平成 3 年）

倶知安町開基 100 年記念を祝し、
サンモリッツ市から第 2 回公式訪問団 15 名が来町

1996 年（平成 8 年）

初の青少年交流事業として中高生 2 名をサンモリッツ市へ派遣
翌年、サンモリッツ市から初の留学生 2 名が来町

1999 年（平成 11 年）

姉妹都市提携 35 周年を記念し、サンモリッツ市から第 3 回公式訪問団 4 名が来町
通信員制度の充実など 4 点にわたる姉妹都市交流事業に合意し、調印式を行う

2014 年（平成 26 年）

姉妹都市提携 50 周年を記念し、
サンモリッツ市から第 4 回公式訪問 6 名が来町 ③
第 4 回公式訪問団 福島世二町長ら 23 名が
サンモリッツ市を訪問



③ 式典後の歓迎レセプションでは、それぞれが記念品を贈呈しました

姉妹都市提携から 60 年間、互いに交流を深め、友好を築いてきました。
町は、未永くこの関係が続くことを願っています。

町民がつなぐ 60年の友好の懸け橋

コロナを経て、4年ぶりの青少年交流事業

両都市がともに力を入れる青少年交流事業は、過去45名以上が参加し、互いの文化や生活の違いを現地で体験してきました。

今回は、倶知安高校の竹山侑来さん、ピンケイ・コンチャ・ネリー・バレンティナさん、加藤あいらさんの3名が9月にサンモリッツを訪れ、12月に役場で報告会を行いました。

60周年の今年、サンモリッツの学生を受け入れ、町内のホームステイ先や学校などで倶知安を体験・学習する予定です。



加藤さん ピンケイさん 竹山さん

～3名からの報告内容～

- ・学生だけで飛行機に乗ることも初めてで、とても緊張した
- ・サンモリッツで出会った人はハグをして快く受け入れてくれ、温かいおもてなしもしてくれる人の優しさに1番感動した
- ・サンモリッツの学生を見ていて、恥ずかしくても間違っても積極的に話しかけると、意見を言う大切さを学んだ
- ・自然が豊かで、特に山と湖の景色がきれいだった
- ・観光地ではあるが、伝統も大事にしていることを知れた
- ・時間の流れが穏やかで、自分たちもゆったり過ごせた



両都市の懸け橋に！～すてきな出会いが待っています

60周年を記念し、町は「倶知安町町民海外研修事業」も兼ねたスイス・サンモリッツ市への訪問を、今年の6～7月ごろに予定しています。

訪問人数や日程、旅行費用などの内容を決定した後、町民からも訪問団メンバーの募集を行います。

募集時期は4月ごろを計画しており、広報紙やHP、SNS（Facebook、LINE）にて詳細をお知らせします。

また、その他にも町内でのさまざまな記念事業を予定していますので、町民みんなで、この60周年をお祝いしましょう！

☎総合政策課広報広聴係 ☎56-8001

今さら聞けない？！ サンモリッツの基礎知識

- ・サンモリッツは、スイスの南東側に位置する
面積：約30平方キロ（倶知安の約7分の1）
人口：約5千人（倶知安の約3分の1）
標高：1856メートル（羊蹄山の頂上とほぼ同じ高さ）
- ・スイスは、ヨーロッパのほぼ真ん中に位置し、イタリア、フランス、ドイツなどに囲まれ、日本との時差は約8時間

サンモリッツ市

姉妹都市通信員が伝える！ サンモリッツの魅力

両都市は言葉の壁を越えて交流を図るため、それぞれ通信員を配置しており、倶知安では平成16年より、英語もスキーも堪能な九津見真由美さんが務めています。両都市の交流に尽力してきた彼女にサンモリッツの魅力を教えてください。



1番の魅力は美しい景色とおいしい食事です。サンモリッツの昼食は、家に帰って、1日の中で1番ボリュームがある温かい料理を食べます。



おほかたで優しい人が多く、町のスポーツ交流事業に参加した際、現地インストラクターの家族が集まる実家に招待され、驚きました。市長も大変フレンドリーでした。

山に囲まれ、自然がきれいなので、写真の中にあるような感覚になります。ロープウェイなどを利用すると、どこを見ても写真のような景色を見られます。



太陽が市のシンボルになるくらい晴れの日が多く、積雪が少ないため、スキー場などは機械を使って人工雪を降らせています。気温はずっと低いため、降らせた雪はすぐにはとけません。



リゾート地としての歴史が長く、隣国より就業している人も多いため、国際色豊かでさまざまな言語が使用されています。お店で英語が通じず、注文に手間取ったことも今では楽しい思い出になっています。



姉妹都市提携60年を迎えて

提携50周年の年、アスプリオン市長をはじめ6名の訪問団が町を訪れました。その訪問団の中には、来町が二度目のメンバーもあり、再会でき、大変うれしかったことを覚えています。

近年は、自然災害やコロナウイルスなどの影響で、青少年交流事業などを行うことができない時期もありましたが、その度に姉妹都市交流が活発となり、こうして姉妹都市提携60周年を皆さんと迎えることができることを大変うれしく思います。

今年、両都市の皆さんと一緒に祝いできるとすてきだと思います。



姉妹都市通信員
九津見 真由美

スキー競技でくっちゃん子が大活躍
中高生が全国・世界の舞台へ

第76回南北北海道高等学校スキー競技選手権大会クロスカントリール競技で、倶知安高校の安藤功騎さんと新井朝海さんが、見事優勝しました。

また、同大会で倶知安高校の生徒5名が、第56回北海道中学校スキー大会で倶知安中学校の生徒5名が、全国大会への切符を獲得しました。

(敬称略、全国大会出場決定者のみ、順位太字は全国大会出場種目)

- 第56回北海道中学校スキー大会**
〔アルペン競技〕
- (1月11日) 小樽市 岡田 果穂 (倶知安中3年) 女子大回転 2位
 - ※前年度の全国大会で特別シード選手となっているため女子回転でも全国大会出場
 - 〔クロスカントリール競技〕
 - (1月12日) 名寄市 山本 陽崇 (倶知安中3年) 男子クロスカル 2位、フリー 2位
 - 押尾 有朔 (倶知安中2年) 男子クロスカル 6位、フリー 8位
- 安藤 優羽 (倶知安中3年) 女子クロスカル 3位、フリー 6位
- 小椋 咲和 (倶知安中3年) 女子クロスカル 11位、フリー 7位
- ※両競技ともに全国大会は2月6日(火)～9日(金)に長野県で開催
- 第76回南北北海道高等学校スキー競技選手権大会**
〔クロスカントリール競技〕
- (1月15日) 名寄市 安藤 功騎 (倶知安高3年) 男子クロスカル 1位、フリー 1位
 - 船場 凱安 (倶知安高1年) 男子クロスカル 2位、フリー 2位
 - 関 胡太郎 (倶知安高1年) 男子クロスカル 4位、フリー 3位
 - 田村 大幸 (倶知安高3年) 男子クロスカル 5位、フリー 5位
 - 新井 朝海 (倶知安高1年) 女子クロスカル 1位、フリー 1位
 - 船場・田村・関・安藤 男子リレー 1位
- ※全国大会は2月7日(水)～11日(日)に富山県で開催

物価高騰により影響を受ける方への支援として
各種支援金・給付金の手続きはお済みですか？

町では、物価高騰による生活費などの負担軽減を図るため、暮らしを支援する給付金事業を行っています。対象世帯で申請書類が届いていない場合は、新たに送付しますのでご連絡ください。

書類は緑色

倶知安町冬季くらしの価格高騰対策生活給付金

- 支給額 / 1世帯当たり7万円
- 対象世帯 / 基準日(令和5年12月1日)現在で住民登録のある住民税均等割非課税世帯および家計急変世帯
- ☎福祉医療課社会福祉係 ☎55-6115

書類はピンク色

倶知安町高齢者世帯等生活負担軽減支援金

- 支給額 / 1世帯当たり1万2千円
- 対象世帯 / 基準日(令和5年11月1日)現在で住民登録のある非課税世帯で次のいずれかに該当する世帯
- ① 65歳以上のみで構成されている世帯
- ② 障害に係る手帳の交付を受けているまたは障害年金を受給している方がいる世帯
- ③ 児童扶養手当を受給している世帯
- ④ 生活保護を受給している世帯
- ☎①福祉医療課高齢者介護保険係 ☎21-2767
- ②・④福祉医療課社会福祉係 ☎55-6115
- ③こども未来課こども支援係 ☎55-6116

書類は黄色

くっちゃん子(高校生世代)子育て応援給付金

- 支給額 / こども1人当たり5万円
- 対象者 / 基準日(令和5年11月30日)現在で住民登録のある平成17年4月2日から平成20年4月1日までに生まれたこどもを養育する者(通学等の理由により町外に転出した場合も対象で要申請)
- ※扶養親族でない場合は対象外
- ☎こども未来課こども支援係 ☎55-6116

雪トピア 2024 フェスティバル

今年の会場は中央公園(文化福祉センター裏)! みんなで一緒に会場へ行こう!

主なイベント ※内容は変更になる場合があります	
17日(土)	18日(日)
どこまで飛ばせるでSHOW!?, 雪中ボブスレーゲーム、羊蹄太鼓演奏、牛乳消費拡大運動(無料試飲)、シーニックナイト点灯式、豪雪焼肉など	謎解きスタンプラリー、スノースライダー体験試乗会、餅まき、雪中宝探し、スノービーチフラッグスなど
【両日とも実施】 巨大雪だるま、巨大すべり台、スノーモービルチューブ体験、倶知安フードフェスティバル、にこちゃんむかし遊びイベントなど	

両日ともに旭ヶ丘スキー場が無料開放、美術館・風土館が入場料の割引をしていますので、併せてご利用ください。また、絵本館は中央公園が会場となるため、臨時休館となります。

☎雪トピアフェスティバル実行委員会 (観光商工課内) ☎23-3388



児童館 2階に新たな遊び場オープン
遊べる!? チョコレートおもちゃ

かわいい? おもしろい?
甘い香りが漂ってきそうな、かわいいコーナーがオープンします。チョコレートの作り方がわかるすごろくやコイン落としゲームなど、楽しいおもちゃがいっぱい!



2月のクラフトは必見!
今月もオリジナルカレンダーやバレンタイン用のクラフトなど、かわいいセットを用意しているほか、塗り絵やお絵かきなどができるコーナーもあるので、ぜひ遊びにきてください!

- 幼児開放 / 10時～16時、月・水・金は全館、火・木は1階のみ開放(12時～13時は使用不可)
- ☎南児童館 ☎22-0419 (予約不要)

世界で活躍するくっちゃん子が町長を表敬訪問しました

スキー選手のくっちゃん子3名が次に控える大会に向け、町長へ表敬訪問をしました。①参加競技 ②名前 ③学年 でご紹介します。



次大会ではかつてよく滑りきって、決勝まで進みたいです。

①スロープスタイル・ビッグエア
②ニコルズ 皇吏さん
③16歳(高校1年生)



将来は五輪でも活躍したいです。そのため、一步一步成長していきます。

①モーグル
②藤村 一慶さん
③16歳(高校1年生)



楽しいことが一番! 崖のような場所を滑る競技なので、覚悟を決めて滑ります。

①フリーライド
②玉井 天満さん
③17歳(高校2年生)

学校給食コンクールで最優秀賞に輝く

1月10日(水)に札幌市内で開催された、「令和5年度北海道学校給食コンクール」で、倶知安町学校給食センターの献立が最優秀賞に輝きました。

今年度のテーマは「郷土愛を育む 地場産物たっぷり! だしを活かした和食給食」で、町学校給食センターは、じゃがいもやごぼう、お米などの地元食材をたくさん使用した「鶏じゃがの味噌照り丼」、「ごぼうのおかか煮」、「豆乳の味噌汁」を調理。味や調理技術、栄養管理だけではなく、献立を活用した食育指導などから総合的に審査され、今回最優秀賞に選ばれました。

なお、今回受賞した献立は、1月19日(金)の学校給食で子どもたちに提供されました。



2月16日～3月15日まで 確定申告（住民税申告）会場を開設します

可能な限り風邪対策のマスク着用や手指の消毒にご協力ください。また、体調不良の際は、来庁をご遠慮ください。

■確定申告受付期間／2月16日（金）～3月15日（金）の9時～12時、13時～16時（土日祝を除く）

■会場／役場1階会議室

■対象者／今年1月1日現在、町内に住所があり、次に該当しない方

- ① 税務署もしくはe-Taxで確定申告をする方
- ② 勤務先で年末調整が済んだ方（医療費控除などを受ける場合は確定申告が必要）
- ③ 収入が公的年金等のみの方で、(ア)昭和34年1月1日以前生年月日148万円以下の方、(イ)昭和34年1月2日以後生年月日98万円以下の方

公的年金等の収入金額が400万円以下で、かつ公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合は所得税の確定申告が不要です。ただし、この場合でも

力強く書き上げる 小・中学生書き初め大会

「小・中学生書き初め大会（主催：倶知安町青少年育成会）」が1月10日（水）、文化福祉センターで開催され、町内の小中学生51名が参加しました。

作品は同日、書家荒野洋子氏や青少年育成会平野雄二会長らにより審査され、次のとおり入賞者が決まりました。（敬称略）



	小学1・2年生 「つばさ」	小学3・4年生 「青い空」	小学5・6年生 「希望の光」	中学生 「未知への挑戦」
倶知安町長賞	松田ひかり	柏原良祐	佐々木唯了	柏原李音
倶知安町教育長賞	山崎大士	松田あかり	大友蘭	大友心
倶知安町議会議長賞	中田岳	田村優芽	山本悠菜	前田陽葵
青少年育成会会長賞	織笠崇人	大友温	前田煌矢	小室実結
倶知安町文化協会賞	山本銀大	秋山珠紀 網野一葉	齋藤正英	—
倶知安ライオンズクラブ賞	松澤翼	鈴木碧海	傳法茉莉奈 森田りおん	—
倶知安ロータリークラブ賞	阪井佑南 工藤蒼大	佐藤翔輝	佐伯夏梨	—
倶知安コスモスの会賞	吉田大翔	中田光希 日野貴稀	沼田かの	—
佳作	小田桐慧也	中谷太一	西村優季奈	—
入選	渡辺颯	大久保岳	中谷心晴	—

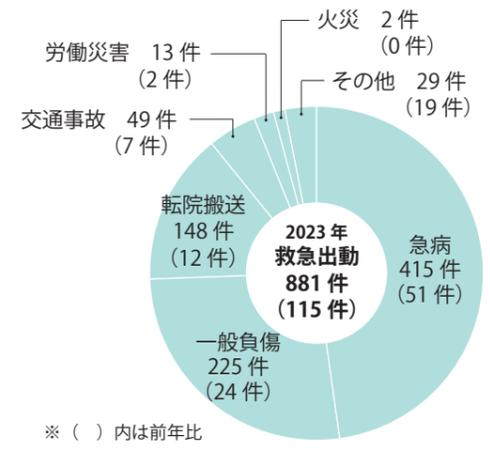
2023年倶知安消防署災害出動の概況 救急出動件数が大幅増

2023（令和5）年中の倶知安消防署災害出動件数は、救急出動を除き147件（町外への出動を含む）。そのうち、火災出動件数は8件（前年比3件減）となりました。

2023年災害出動 147件（▲2件） ※（ ）内は前年比



救 助	交通事故などにより脱出できない人を救出する出動など ※交通事故5件、山岳救助10件、遭難事故8件、落雪事故4件など
火 災	建物や車両などが燃えたときに消火活動を行うための出動 ※建物火災7件、その他火災1件
その他	ドクターヘリ離着陸支援、火災報知設備の誤作動に伴う出動など



救急出動件数は、881件（町外への出動を含む）で、805人（前年比71人増）の傷病者を搬送しました。特に急病による救急出動が大きく増加しています。

火災出動件数が、前年より3件の減少となりましたが、より一層の防火対策をし、火災のない一年にしましょう。火の用心をお願いします。

☎ 22-1089
関羊蹄山ろく消防組合倶知安消防署

建物の倒壊・屋根からの落雪など 雪による事故を防ぎましょう

積雪による建物の倒壊事故や屋根などからの落雪事故を防ぐため、屋根の雪下ろしを行いましょ

気温や雪の降り方によっては、普段落ちない屋根の雪が一気に落ちることがあります。

落雪事故は、気温がプラスマイナス3度程度の時に発生しやすいという特徴があり、気温が上昇した日中には、落雪による事故が起きたり、道路をふさいでしまったりする場合があります。

屋根に雪が残っている場合は、軒下の通行に十分注意し、軒下や道路では絶対に子どもを遊ばせないようにしてください。

また、災害時の避難経路を確保するため、非常口や避難階段、敷地内などの除雪を行いましょ

※交通事故および交通

障害防止のため、屋根からの落雪や敷地内の雪を道路に出さないでください



雪下ろしをする際の注意事項

- ① 命綱を着けるなど落下事故に注意しましょう
- ② 歩行者への十分な安全対策を行いましょ
- ③ 一人で作業を行わないようにしましょう

車を運転する前に敷地内で雪を下ろしましょう
車の雪を処理せずに運転すると、その雪で自身や後続車の視界を遮ってしまうことがあるため、大変危険です。さらに、道路上に車の雪が落ちることで道路状況を悪化させ、他の車に迷惑が掛かることもあるため、運転前に車の雪を処理しましょ

☎ 56-8011 建設課豪雪対策室
☎ 56-8012 まちづくり新幹線課景観室建築指導係
☎ 56-8005 住民環境課生活安全係

ており、テレビや重要な通信に妨害を与える恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

使用した場合は、法律により罰せられますので、無線機の購入・使用などの際には必ず、「技術基準適合証明マーク」の確認をお願いします。

北海道総合通信局電波監理部電波利用環境課

☎ 011-709-2311

道横断自動車道蘭越〜倶知安間が事業化へ一歩前進

北海道横断自動車道の蘭越〜倶知安間の事業化に向けた、国土交通省社会資本整備審議会道路分科会北海道地方小委員会の「計画段階評価」の3回目が、令和5年12月19日(火)に札幌市で行われました。

「計画段階評価」とは、新規事業が採択される前段階において、政策目標を明確にし、複数の案の比較や評価を行うもので、蘭越〜倶知安間については、地域課題や現道課題を解消すべく、次の政策目標が掲げられています。

○二セコリゾートへの速達性、安全性の向上
○各市町村間の速達性、安全性の確保

○地域の暮らしを支える救急搬送の速達性、安定性の向上
○大規模災害時や地吹雪・洪水発生時における国道機能確保
会合では、北海道開発局から地域意見聴取の結果を踏まえ、検討中の「別線整備ルート」と「別線整備・

一部現道活用ルート」の2案のうち、全ての政策目標において同等以上の達成が見込める「別線整備ルート」を対応方針(案)とすることが説明されました。委員からも、観光面や日常生活、医療、災害などから、対応方針(案)に賛同する意見がありました。

二セコエリアの観光に対する住民アンケートを実施します

二セコ観光圏協議会(蘭越町、二セコ町、倶知安町)では、地域に住む方が観光に対してどのようなイメージを抱いているのか、観光を通じてどのような地域にしていきたいのかを把握し、今後の観光に生かしていくため、アンケート調査を実施しています。

■調査期間/2月29日(木)まで
■回答方法/下記の二次元コードから回答することが可能です



アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で30名様にAmazonギフト千円分をプレゼント、アンケート調査にぜひご協力をお願いします。(AmazonはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です)

観光商工課観光推進係
☎ 23-3388

消防署からのお知らせ

屋根の雪下ろしは十分注意して行いましょう

毎年、屋根の雪下ろし作業中の転落事故や、屋根からの落雪による事故が発生しています。除雪作業をする際は次のことに注意しましょう。

- 屋根から雪が落ちてこないか注意する
- 作業をする時は滑り止めのついた靴を履き、動きやすい服装で行う
- 屋根の上で作業する時は命綱をつける
- 作業は二人以上で行い、やむを得ず一人で行う場合は、家族や隣人に声を掛けてから行う
- 体調が悪いときは除雪作業を行わない

以上のことに注意をして、安全に除雪作業を行いましょう。

	令和5年	令和4年
火災	8件	11件
救急	881件	793件
救助	50件	52件
その他	89件	85件

まちの事件簿 | 地域安全ニュース

12月の主な事件
12月中、倶知安町では犯罪の発生はありませんでした。

12月の主な交通事故
▽1日、国道5号の交差点において、出会い頭の人身事故が発生しました。

▽2日、国道5号において、正面衝突の人身事故が発生しました。
▽6日、商業施設の駐車場内において、人身事故が発生しました。

	令和5年	令和4年
人身	35件	33件
物損	822件	552件
死者	0名	0名

おたんじょうおめでとう

ごめいふくをお祈りします

1月17日(水)までに住民環境課住民係へ届け出があったもので、承諾を受けた内容について掲載しています。

人口	16,505人(前月比 +945)
男	8,600人(前月比 +549)
女	7,905人(前月比 +396)
世帯数	10,058世帯(前月比 +951)
うち外国籍住民	2,794人(前月比 +923)



ようてい法律事務所
弁護士 渡邊 恵介
☎ 21-6228

この度の震災に当たって

1月1日、能登半島を震源とした地震が発生し、甚大な被害が起きました。この度被災された皆さまに対して心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く日常が戻ることを願っています。

今回の地震では、津波の怖さを改めて痛感しました。津波に関する注意報・警報が発せられた場合は、対象地域の方は直ちに避難することが重要です。

津波からの避難に際し、不動産の権利証、預貯金の通帳、実印などを持ち出す必要はありません。仮にこれらを紛失したとしても、権利を失うことはありませんので、これらを探したり、取りに戻ったりはせず、一刻も早く避難することを優先してください。

また、今回の地震では、道内に大きな被害はありませんでしたが、これから道内に避難してくる方がいるかもしれませんし、知り合いに人的な被害や建物倒壊などの物的被害が生じたり、事業が行き詰まったりした方がいるかもしれません。

そのようなときは、さまざまなお金の支援制度(給付や貸付)があるほか、被災によってローンの支払が困難となるような場合、ローンを減免する制度(被災ローン減免制度)もあります。

被災ローン減免制度は、災害救助法が適用された自然災害の影響を受けたことによって、債務の返済が困難となった個人の方が対象で、今回の能登半島地震でも災害救助法が適用されています。

災害は、時と場所を選ばず発生しますので、制度についてあらかじめ知っておくことが有用です。

皆さん自身やお知り合いでお困りの方がいましたら、さまざまな支援制度がありますので、専門家にご相談ください。

くっちゃん 情報発信ツール



- 倶知安町 ホームページ
<https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/>
- 倶知安町 Facebook
<https://m.facebook.com/kutchan.hokkaido/>
- 倶知安町 LINE 公式アカウント
LINE ID: @kutchan
- 小川原脩記念美術館 Facebook
<https://m.facebook.com/shu.ogawara.moa/>
- 倶知安風土館 Facebook
<https://m.facebook.com/Kutchan.Fudokan/>
- 資源・ごみ分別アプリ「さんあーる」
アプリのダウンロードはこちらから→
Android iOS

消費者コーナー

倶知安消費者協会

道内の特殊詐欺被害は減少も手口は巧妙化



北海道警察の発表では、2023年の道内の特殊詐欺被害件数は、前年と比べて124件減少しています。

これは、道民への周知・啓発を行ってきた関係機関の取り組みによる成果だと思えます。しかし、次々と詐欺の新しい手口が発生し、後を絶たないのも実情です。

町内でも「困っている人を助けましょう!」と語り、不用品を回収・訪問する電話がかかってくるというケースがありました。

親族や友人などと連絡を取り、情報交換をして、詐欺被害に遭わないように注意しましょう。何かありましたら相談室へお気軽にご連絡ください。

■消費生活相談室(公民館1階団体室)
■月・水・金曜日 10時~15時 ☎ 23-1522



ぼくたち わたしたち くっちゃん子

俱知安ですくすく育つ子どもたちです。「こんな子に育ってほしい！」ご家族の願いも併せて紹介します。

☎総合政策課広報広聴係 ☎ 56 - 8001

※ 4・10 カ月児健康診査を受診した子どもで、保護者が同意した場合のみ掲載しています

子育て支援センターだより

3月の広場のお知らせ

あいあい広場 (0歳)	3月14日(木)
きらきら広場 (1歳)	3月21日(木)
のびのび広場 (2・3歳)	3月7日(木)

■申込 / 2月5日(月)9時30分～

0歳は子育て支援センターでおもちゃ作り、1歳と2・3歳はくっちゃん保育所めぐぐぐで運動遊びをする予定です。

子育て講座「アロマルームフレグランス作り」

- 日 時：3月6日(水)10時～11時
- 場 所：子育て支援センター※託児有
- 講 師：竹村由紀氏
- 持ち物：タオル、飲み物(2人分)
- 参加費：オイル代500円

■申込 / 2月13日(火)9時30分～

*広場・講座ともに子育て支援センターを利用したことがない「はじめまして」の方も参加できます

子育て支援センター (南3東5めぐぐぐ内) ☎ 55 - 8355 FAX 55 - 8377

開所時間 9時30分～12時、13時30分～16時

休 所 日 日曜日、祝日



子どもの睡眠と生活リズム

「寝る子は育つ」ってホント？

「睡眠」は、人が生きていくために欠かせない活動ですが、特に子どもの成長発達にはとても大切なものです。睡眠がもたらす効果を3つ紹介します。

- ① 『体の成長』：睡眠中に分泌される成長ホルモンによって、骨や筋肉がつくられ、体の発育を促します。また、疲労回復や免疫力の向上にもつながり、日中の行動の質が高まります
- ② 『脳の成長』：睡眠中に脳は、幼稚園や学校などで練習したことや勉強したことの記憶を整理します。そして、覚えたことを脳に定着させ、記憶力をアップさせる効果があります
- ③ 『心の発達』：睡眠不足が続くと、イライラしたり、注意力や集中力が下がり、感情のコントロールが難しくなります。質の良い睡眠は、気持ちを安定させます

しっかりと睡眠をとることで、これらの効果が健康的な心身をつくるため、『寝る子は育つ』は言葉通りの意味があります。

生活リズムを整えるために

- ・朝起きたら日光を浴びて気持ち良い目覚めを迎え、体を眠りの状態から活動できる状態にすることが大切です
- ・日中は、十分に運動し、体を動かして、3食しっかりと食べて栄養を取り、規則正しい生活リズムを心掛けましょう
- ・寝る前のテレビやスマートフォンのブルーライトは、脳を覚醒させて眠りにくくなったり、睡眠が浅くなったりしてしまいます。寝る前はテレビを消し、スマートフォンなども極力見せないようにしましょう

保護者の帰宅時間の都合や家庭の事情で、お子さんが規則正しく睡眠できる環境をつくることは簡単ではありません。それぞれの生活の実態に合わせて、家族みんなで健康的な体と心を育てていきましょう。

☎ 22 - 1144
☎ 23 - 0500

「人生100年時代」元気に働きませんか？

近年は、再雇用や再任用など、定年を過ぎても仕事を続ける機会が増えています。

仕事を続けることは、気持ちの張りにつながります。また、仕事をしながら、励みや生きがいとなり、長生きの秘訣となつているのかもしれない。

現役時代の技能や経験を生かした短期的・臨時的な仕事を通じ、生きがいの充実や社会参加、健康の増進を目的として、高齢者事業団やシルバー人材センターなどが全国的に活動しています。

町内でも「俱知安町高齢者事業団」が平成3年に設立され、民間企業や官公庁、家庭から依頼された仕事を有償で請け負い、性別・年代関係なくさまざまな会員が活躍しています。

仕事内容は、会員の技能を生かした軽作業が中心で、ちょっと人手がほしいけれど業者に頼むほどでもない、忙しくて自分でする時間がない時など、誰でも気軽に依頼することができます。

■主な仕事内容 / 除草や草刈り、植木の冬囲いや剪定、施設や家庭の除雪、施設の清掃・管理など

運営は会員により自主的に行われ、おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある人なら誰でも入会でき、働いた時間や日数に応じて配分金を受け取ることができます。また、会員同士が楽しく働くために、親睦を深める行事や、けがや事故に備えた保険加入など、福利厚生にも力を入れています。

現在、約15名の会員が登録していますが、性別を問わず一緒に働く仲間を募集しています。

「人生100年時代」を元気に過ごすためにも、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

☎ 23 - 0500
☎ 23 - 4020



感動の場

『平野で』
1988年 小川原 脩 画



『感動の場一点』でどうだろう、点がたくさん集まり、まとまる、それが美術館ということかな」と小川原脩は連載当初に発案し、それがそのまま、この作品紹介コラムのタイトルになりました。1998年の美術館着工を機に始まった連載は開始して25年が経ち、小川原脩から2名の学芸員へ、そして学芸スタッフを交えた形へと執筆を変えながら、掲載300回を越えました。(今回は308回目です)

この作品は1998年10月号で紹介され、小川原本人による文章が寄せられました。1986年の暮れから87年の正月をインドのウッタルプラディッシュ州で過ごした時のことを振り返っています。『・・・ウッタルプラディッシュ州はインドでも最も豊かな土地なのだろう。サトウキビの収穫期なので、どこを通っても収穫したサトウキビのくきをいっぱい積んだ車を水牛がひいて行く。行けども行けどもという感じだ。この豊かな農村が、インドの経済を支えているのだろう。農家の庭先のようなところで、麻袋につめられた穀物らしいものを見かけたのが印象に残ったし、はちきれんばかりの麻袋の量感が、この地の象徴と思つて鳩を飛ばし、素焼の壺とをアレンジして、インドの農村への讃歌という意味を持たせた作品である。・・・』

作者本人や学芸員が添えた言葉とともに絵を見ると、また違ったものが見えてくるかもしれません。

文：沼田 絵美 (小川原脩記念美術館 副館長)

ふるさと探訪

490回

本膳

写真の資料は「本膳」または「会食膳」と呼ばれる食器で、昔、冠婚葬祭や正月などのかしこまった食事の時に使われたものです。器や膳の色には、朱色以外に黒色のもの、鶴や松が描かれたものもありました。

膳の上に乗っている食器は、手前左から「飯椀」、「汁椀」、真ん中にあるのが「高杯(腰高)」、奥側左から「平(大平)椀」、「坪(壺)椀」の順番になります。器に盛り付ける料理には、飯椀にはご飯、汁椀にはみそ汁やお吸い物、高杯には香の物(漬物)、平椀には煮しめ、坪椀には酢の物や煮豆を入れました。他に「二の膳」を用意して、そこに焼き物(魚など)、口取りなども用意しました。

倶知安町史(昭和36年版)には、大正時代の結婚式の話で、『このころほとんどの農家は2~30人分の客用食膳を用意していたが、親戚の家から食膳を借りてきて5~60人分の膳をそろえ、それにさまざまなご馳走をつける』と記され、盛大に結婚式が行われていたようです。

現在では、会食で本膳料理を見ることはなく、まれにお食い初めのときや、仏壇に供える食事、本格的な日本料理の食事で見掛けることがある程度です。

風土館の民具収蔵庫には、いろいろな種類の本膳が保管してありますので、来館して見比べてみてください。

文：今井 真司 (倶知安風土館 学芸補助員)



展覧会のお知らせ

■第1展示室

小川原脩展「感動の場一点」

広報くっちゃんに1998年から続くコラム「感動の場一点」。小川原自身が名付けたもので、現在は連載を開始して25年、掲載回数は300回を越えました。小川原脩の代表作の数々を、「感動の場一点」で綴られた紹介文とともにご覧いただきます。

会期：開催中~5月12日(日)

■第2展示室

小川原脩展「小川原脩と麓彩会」

小川原脩は麓彩会を「地方文化の苗床」として位置付け、自身の重要な作品発表の場としていました。小川原の画業を麓彩会展出品作を中心にたどる展覧会。

会期：開催中~2月12日(月・祝)

(おしゃべり美術館2024) 対話鑑賞のススメ

会話を楽しみながら小川原脩の作品を鑑賞する展覧会です。友人と、家族と、おひとりでも、絵の中の出来事をひも解いてみませんか。おしゃべりキャラクターの「とりっちー」がご案内します。

会期：2月17日(土)~4月14日(日)



アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

おとなの手しごと (25)「コスモサークル作り」

色糸を紙にぐるぐる巻き付けてきれいな模様のおーナメントを作ります。

日時：2月10日(土)14時~16時

会場：ロビー (無料)

お相手：金澤逸子 (学芸スタッフ)

定員：10名※要予約、高校生以上、親子可



■ミュージアム・コンサート

アンサンブル・クレセント《弦楽四重奏》名曲コンサート

どこかで耳にしたことのあるあの「名曲」を、バイオリン・ビオラ・チェロの弦楽四重奏でお楽しみください。

曲目：アイネクライネナハトムジーク、サウントオブミュージックなど

出演：森本千絵さん (バイオリン)、森由紀子さん (バイオリン)、猿渡美穂子さん (ビオラ)、山田慶一さん (チェロ)

日時：2月18日(日)14時~15時

※日曜日ですので、ご注意ください

会場：当館ロビー※予約不要・無料・当日先着50席

■ロビー・ギャラリー

冬期間に「ロビー・ギャラリー」(町内や近隣町村で創作活動を行う作家・愛好家の展示)を開催します。会期・出品作家など、詳しくは町HPをご覧ください。



ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一般 500円(400円)

高校生 300円(200円)

小中学生 100円(50円)

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一般 200円(100円)

高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時~17時

入館は16時30分まで

※()内は10名以上の団体料金

2月の休館日 毎週火曜日、展示替えのため
美術館のみ13日~16日

17日は展覧会初日のため美術館観覧無料

小中学生書き初め大会

1月10日、公民館で書き初め大会が、倶知安町青少年育成会の主催で開催されました。前回はコロナ禍を挟んで令和2年の1月までさかのぼり、4年ぶりの開催。会場も世代交流センターから公民館に変更し、開催する側としても勝手がわからず、どのくらい来てもらえるか不安でしたが、これまで同様に50名を超える子どもたちが参加してくれて、胸をなで下ろしました。

当日は、最初に書道家 荒野洋子先生の実技指導から。荒野さんが書を書く場面に立ち会うのは私も初めてであり、子どもたちもその姿を食い入るように見つめていました。

その後は各々、好きな場所に陣取って書き初めを開始。太く力強い文字を書く子や、伸びやかできれいな線を引き、枚数を重ねるごとにどんどん上達する子・・・。

思い思いに、されどみな真剣に取り組んでくれていました。

年の初めの催しとして、未永く続けて行きたいと実感した次第です。

館長 福原秀和



公民館 3階図書室

10～17時（毎週月曜休室）
※29日（木）は図書整理日のため休室



商い同心
人情そろばん御用帖

著者：梶よう子



私が鳥のときは

著者：平戸萌



人間標本

著者：湊かなえ



すぐできる自力整体

著者：矢上真理恵
監修：矢上裕



絵本館

10～18時（日曜は17時まで、毎週水曜休館）
※17日（土）、18日（日）は臨時休館、27日（火）は図書整理日のため休館



君たちはどう生きるか

著者：宮崎駿



図解大事典 日本の都市伝説
絶叫！怪異！…全124話

監修：朝里樹



窓ぎわのトットちゃん
ストーリーブック

原作：黒柳徹子
著者：八鍬新之介、
鈴木洋介



あなたの知らないヒミツがたくさん！
キラキラ星座ずかん

監修：甲谷保和
絵：もちうさぎ

カレンダー市にご寄付いただいた個人・法人の皆さま、
ご購入いただいた皆さま、ありがとうございました。

新雪のゲレンデにオーギーが恋をした



▲新年交礼会（1月5日）

過去の雑誌を片付けていたら、手が止まった。2005年3月9日発行ニューズウィーク日本版、表紙特集「外国人しか知らない ⑧ JAPAN

GUIDE 新しい日本の歩き方 2005」。「新雪の…」の見出しではじまった。

「14年前は数人だけのオーストラリア人。そのニセコが今では『リトル・シドニー』に。彼らの目的はスキー。日本料理や温泉ではなかった。なので、長期滞在向け宿泊施設を自ら建設。魅力は豊富なパウダースノー、周辺の自然の素晴らしさ、リフト料金の安さ、夜9時まで楽しめるゲレンデ…」そして、「急速に変貌するニセコから、しばらく目が離せない」記事はそう締めくくられた。

あれから19年、ニセコエリアは「インバウンド観光立国の優等生」の声も。ならば一層、私たちは「住民が心豊かに暮らし続ける」まちづくりを着実に！

文字一志

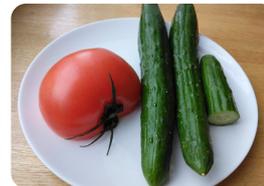
今日は何を食べよう？

1日350g²の野菜を食べるのを目標にしよう！！

先月号では、野菜の1日摂取目標量は350g²で、もう1皿野菜料理を食べると目標達成できる人が増えると紹介しましたが、350g²と聞いてもイメージがしにくいという方もいると思うので、350g²となるいろんな野菜の組み合わせパターンを写真で紹介します。

トマトやにんじんなどの色の濃い緑黄色野菜を120g²、大根や白菜などの色の薄い野菜を230g²、合わせて350g²が目標とされています。

★そのまま食べられる
お手軽350g²



★いろいろな野菜を
組み合わせて350g²



★小鉢1皿分（70g²）の例



栄養士 小屋畑麻未